

【15】 博士課程教育リーディングプログラム 「グローバル・リソース・マネジメント」(GRM) プログラムについて

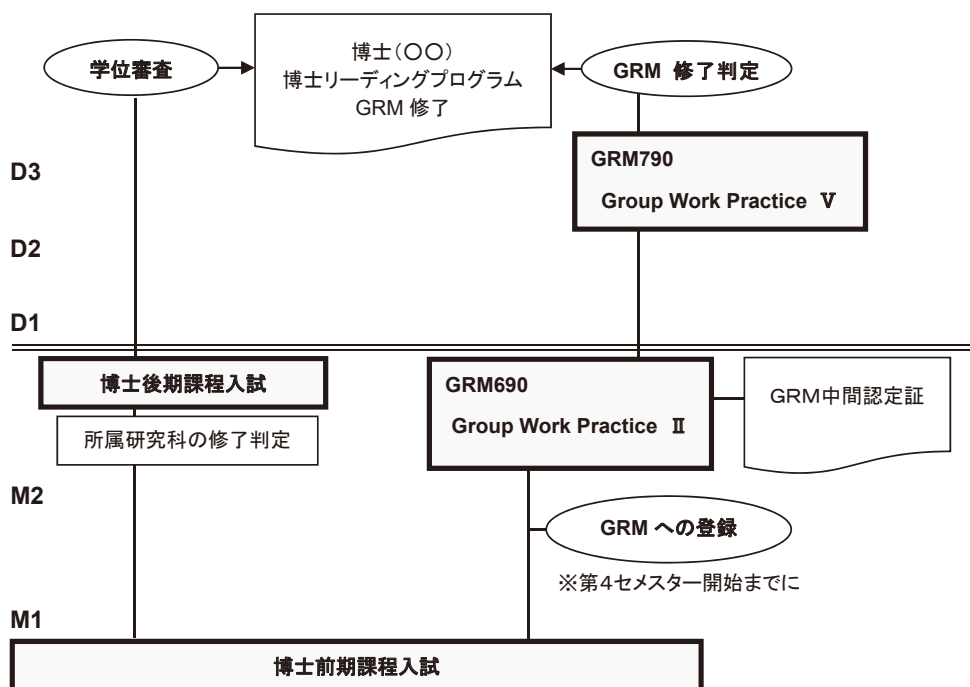
1. プログラム(略称: GRM)の概要

本プログラムは、良心教育を基礎に据え、本学の教育のグローバル化の成果を活かして、諸研究科を横断する新たな大学院教育を創設するという趣旨から構想された。本プログラムが養成しようとするグローバルリーダーは、いわゆる「エリート型」リーダーではなく、新興国や最困難国・地域で現地の人々と同じ目線で諸問題の解決にあたることのできる文理融合型グローバルリーダーであり、創立者新島襄の精神が生きている本学独自のプログラムである。

GRMが趣旨とする多文化共生社会で他者と協働できる人材を養成すべく、社会の広範な分野で活躍する高度職業人材に必要な能力として、学問分野・領域に共通する多角的視野、汎用性、応用性といった基礎能力の涵養を目的とする。

本プログラムは、区分制博士課程と一貫制博士課程の全研究科・専攻を対象に所属する研究科・専攻の教育課程とは別に履修する、博士課程の前期課程と後期課程を一貫した5年間の追加型大学院教育プログラムである。

履修にあたり、履修生の選抜試験を課さない点や、博士学位取得を義務付けていない点、GRMプログラムの修了を希望しない者でもGRMが設置する科目を履修可能としている点が大きな特色である。



本プログラムでは、所定の科目がプログラム中間審査および修了審査を兼ねる。

本プログラムの修了を希望する者は、博士前期課程2年次の第4セメスター開始前までに所定の手続きを経て、「GRMプログラム修了を希望する者」として登録を行う。登録を行うと、本プログラムで修得した単位は、プログラムの修了に必要な単位として算入され、グローバルスタディーズ研究科博士課程（前期課程）の学位取得に必要な単位には算入されない。

また、当初「GRMプログラムの修了を希望しない者」としてプログラムの履修をはじめても、博士前期課程2年次の第4セメスター開始前までであれば、途中で、「GRMプログラム修了を希望する者」として登録ができる。

所属の研究科の所定単位とは別途、本プログラムの修了に必要な単位（20単位以上）を修得し、本プログラムの中間審査および修了審査に合格かつ博士学位論文の審査を請求した者には、プログラムの修了判定を行う。

修了判定に合格し、博士学位論文審査に合格した者には、本プログラムの修了を認定し、所属研究科の教育課程及び博士課程教育リーディングプログラム（グローバル・リソース・マネジメント）の修了を付記した「博士（所属研究科ごとに定める専門分野）」の学位を授与する。

2. プログラム履修上の注意

- GRM科目の履修登録は、DUETの一般登録で行う。
- GRM科目の多くは、prerequisite（履修条件）が付されており、段階的に履修を進める。
- GRMプログラムは、同一科目に対しプログラムの修了を“希望する”学生向けと、修了を“希望しない”学生向けに複数の科目コードがある。
- GRMの教育課程で修めた単位（GRMプログラムの修了を“希望する”学生用の科目コードで登録した単位）は、グローバル・スタディーズ研究科の修了に必要な単位として算入されないので十分に注意すること。
- 2020年度と2021年度生がGRMの教育課程で修めた単位（GRMプログラムの修了を“希望しない”学生用の科目コードで登録した単位）は、グローバル・スタディーズ研究科の認定を経て、10単位を超えない範囲でグローバル・スタディーズ研究科博士課程（前期課程）の修了に必要な単位として算入することができる。
- 2019年度以前生がGRMの教育課程で修めた単位は、グローバル・スタディーズ研究科博士課程（前期課程）の修了に必要な単位として算入されないので十分に注意すること。
- 詳細は博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」履修要項を確認すること。